

日本公民教育学会・会員の皆様

この度、日本公民教育学会の会務をお預かりすることになった東京学芸大学の澤大澤克美です。信州大学の小山茂喜先生、田村徳至先生を中心に準備が進められていた松本市での研究大会が中止になったことに伴い、通常行われている理事会及び総会も中止にせざるを得ない状況となりました。そのため本学会においては、いわば非常事態宣言をすることとなり、会則では想定されていない特別理事会にて本年度の会務遂行に必要な事項と、役員任期の期限に伴う暫定体制の立ち上げを審議いただき、了承されました。一連の経緯については、前会長の栗原久先生からお知らせがあったところです。

学会誌をはじめとする会務を遂行するための学会役員及びその役割分担の正式決定は、次年度の理事会及び総会の議を経なければならないため、それまでの間、代行という形で会務を遂行していく予定です。これまで想定していなかったパンデミックによる研究大会中止という事態に直面した現実を踏まえれば、会則第14条にある「本会則の変更」についての検討が必要かもしれません。

コロナウィルスの感染状況が今後どう推移するかはまったくわかりませんが、できる限り研究大会以外の会務を滞りなく進めるため、副会長の唐木清志・桑原敏典・保立雅紀先生、学会誌編集委員長の栗原久先生、事務局長の鈴木隆弘先生、常任理事の先生方と相談しながら、職責を果たしていきたいと思っています。

会員の皆様も、それぞれに日常とは異なる困難な状況に取り組まれていることと拝察いたします。お忙しい日々の中、くれぐれもご自愛ください。

日本公民教育学会会長代行

大澤 克美